



愛着障がいのタイプと行動特徴

愛着障がいには診断基準にある2タイプ（下記1・2）に加え、3の併存タイプがあると米澤先生は指摘しています。これらの違いは不適切な行動に対して制止したり叱ったりした場合の反応の違いに現れます。



1 脱抑制タイプ（脱抑制型対人交流障害）

診断名がつくケースは、ごく限られます。誰に対しても**無警戒**でなれなれしく、過剰な**身体接触**（抱きつくなど）が見られます。叱られても、かかわってもらえたと受け止めて、不適切行動がかえって増えてしまいます。

2 抑制タイプ（反応性アタッチメント障害／反応性愛着障害）

診断名がつくケースは、ごく限られます。人間不信があり、誰に対しても**警戒**して自分からかかわろうとせず、人が近寄る（特に正面から）のを嫌います。叱られると長く（数週間～数年）**関係を遮断**することがあります。

3 ASDと愛着障がい併存タイプ

ASDの二次障害と言えるケースもあります。診断基準では併存が認められていませんが、実際にはこのタイプが存在し、ADHDと混同されがちです。衣類で**頭を覆う**、机の下など狭く囲われた場所に**籠もる**といった行動がよく見られます。叱られたときの反応には2パターンあり、突然ネガティブな感情がフラッシュバック的に甦り、パニック的（大暴れ）で執拗な**攻撃行動**が生じるパターンと、一時的に（数十分～数時間、タイプ2より短い）にかかわりを**拒否して固まる**パターンがあります。

以下はよく見られる行動の例です。これらが見られたら愛着障がい、ではなく、**愛着障がいの子には、これらの行動のいくつかが見られがち**というものです。

注意

- ① **モノとの関係** 机上や座席回りの床に不要なモノがいっぱい モノや体をよくさわる
- ② **口の問題** 指しゃぶり モノや服の端・体の一部をなめる・噛む 相手に噛みつく
- ③ **床への接触** 靴や靴下を脱ぐ 机の上や床に座り込む・寝転ぶ 床を這い回る
- ④ **姿勢・しぐさ** 姿勢が崩れる 体をゆする 椅子漕ぎ 服がだらしない がつつき食い
- ⑤ **排泄の問題** お漏らし トイレ以外にする 後始末をしない
- ⑥ **危険な行動** 机やロッカー・フェンスなどの上に乗る モノを投げる・投げ落とす 窓からの出入り 飛び降り 暴言 けがをしても泣かない・痛がらない
- ⑦ **注意引き行動** 何かと訴えてくる 保健室によく来る 飛び出しを追うと嬉しそう 自作自演の事件を起こす わざと不適切な行動や意地悪をする
- ⑧ **静寂潰し** 大声・奇声を上げる 大声で歌う 机を叩くなどして大きな音を立てる
- ⑨ **愛情試し行動** 大人をよく見ている メモを気にする 何をしているのかと大人にきく 叱られるか・許されるかを試す 場面・場所によって行動が変わる
- ⑩ **愛情欲求エスカレート現象** 人を自分の思い通りにさせようと誘う・要求する 要求がエスカレートする かかわってもらえないと頑張れない
- ⑪ **自己防衛** 否認の嘘をつく 自分は悪くない・知らないと言う 人のせいにする 自分ばかり注意されると訴える 注意されると大泣き・記憶が飛ぶ
- ⑫ **自己否定** どうせできないからやらないと諦める 何事にも意欲をみせない
- ⑬ **自己高揚** 虚勢を張る 自慢話 自分のことはさておき他者を注意 モノをあげる いじめをして人が困るのを楽しむ 人を支配しようとする
- ⑭ **その他** 抜毛 ゲーム依存 窃盗 性問題 摂食障害 自傷 チック 吃音 選択性緘黙

次回は、これらの行動の背景や意味について整理します。

担当 学校生活適応支援アドバイザー（飯山・大瀧）
TEL 639-4392